

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達センターいるか かせだ		令和7年 2 月 28 日				
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用定員に対し、十分な広さがあります。個別活動に対しては、部屋を使い分ける等、集中しやすくしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用人数や特性に応じて職員の配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		広さもあり、活動ごとに行う場所を固定しています。また、極力物を置かないようにし、工夫をしています。通所時の流れ、活動内容を絵カードや文字にて分かりやすく提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		使用した玩具類の消毒、手洗い、うがい等したの洗面台の消毒を毎日行っています。また、広さも十分にあるため、活動スペース、食事など摂取する部分と分かれてます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		状況に応じては、部屋を使い分ける等、集中しやすい環境を作ったり、落ち着ける空間の提供をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月に一回はミーティング内で事業所の目標や達成できたか、達成できなかった部分等の振り返りを行い、次の目標に行かせるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回アンケート実施しています。結果は職員間で共有しながら、業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティング等を行い意見交換や業務改善を行っています。また、勤務時間帯で児発に参加できない職員に対しても、意見等を参考にしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	年に2~3回各委員会を行っています。	外部評価を行う機会が少ないため、来年度は調整を行い評価を受け、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内部、外部研修等に参加できるように努めています。	研修の時間帯により、参加が難しいことも多く、今後は職員の確保を行い、研修に参加できる機会を多く取り入れていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成、ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者様や保育園関係に話を伺い、それをもとに職員間で共有し計画書作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日頃からの、こどもたちの様子課題点など職員間で話し合いながら、保護者様と面談を行い計画書作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書は職員間で共有。計画書に沿いながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		年齢的な発達をもとにアセスメントを行っています。また、ご家庭で医療機関で発達の検査を行った際には、資料を共有してもらい支援に役立てています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		作成している個別計画書には、必要な支援の項目、具体的な内容を記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員と意見を出し合いながら行っています。また、発達に応じたプログラムになるように、打ち合わせなどしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		固定化しないように、こどもたちが楽しみながら自信が持てる内容になるように工夫しています。継続的に行う活動もありますが、ねらいの変更を行い、固定化せず臨機応変に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		集団で行う活動を毎回取り入れています。また、個々に応じた個別活動や機能訓練も行っていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎回の申し送りを行っています。送迎の確認や活動のねらい、役割分担を行いながら支援を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		毎回、お昼からの申し送りにて振り返り、気付いた点を共有し、次の支援に役立てています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、記録は行っています。また、記録の漏れがないように、再度、確認も行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		相談支援事業所と連携をとりモニタリングを行い、見直しを行っています。また、保護者様との面談を行い、計画書の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。日々の様子など共通理解していますが、会議の際には、再度、話を伺うように努めています。	時間帯にもありますが、担当職員も参加同行できるように、調整を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		会議の際には、各関係者、保健師等も参加して、検診時の様子など伺う機会があります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や就学に向けた会議を、相談支援事業所の方が場を設けてくださり、情報共有等を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを作成を行い、情報共有に努めています。また、移行支援シートを作成にあたり、保護者様にもサインを頂いています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		研修などに参加して個々のスキルアップに繋がるようにしています。参加した職員には、報告書を作成し情報の共有を図っています。	研修など積極的に参加し、職員のスキルアップの向上に努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			活動中、公園など行く機会を増やし、地域の子と触れ合う機会を設けたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		通所時は、毎回、活動中の様子など、端末機を使用しお知らせしています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修までには至っていません。外部研修などのご案内がある際には、情報提供を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。また、変更等がある際は、別紙にてお知らせをしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行い、ご家族様の要望をお聞きし、意向を共有しています。お子様に対しては、ご家族様との面談の中で、活動の様子など話してくれたことや、感じたことを計画書作成時に役立てています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		アセスメントを行い、ご家族様のニーズをもとに計画書を作成し説明、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行っていますが、必要に応じて多く面談を取り入れたり、保護者様からの依頼にて面談を行い、アドバイスを行い、職員にも周知し支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会など行っていませんが、法人内での親子ふれあいなど行っています。きょうだい児にも参加しやすい内容になっています。	保護者同士の集まる機会を増やし、交流に努めたいです。また、きょうだい児にも参加できるようなイベントなども開催していきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一回のお便りや、ホームページ、SNSの活用にて情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書棚に個人情報が入れています。請求書など、名前が記載されている配布物は2度確認を行い、配布するように努めています。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		1人ひとりの特性に応じ、絵カードや文字にて伝達を行ったり、日中のスケジュールも分かりやすく提示しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	法人全体では実施していますが、事業所内では実施できていないです。	職員間で話し合い、イベント等にて招待する機会を作り、地域との交流を図れるようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各委員会を設置し、マニュアルを基に定期的に訓練も実施しています。	保護者様に対しては、契約時や訓練を行った際には、お知らせをしていますが、認知度が低いため、定期的に周知したいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に3回、避難訓練等を実施し、いつ訪れるか分からない災害に迅速に対応できるように努めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		児童票にて記載して頂いています。服薬されている薬が変更もしくは量が増えた際にも、保護者様からお伝えして頂くようにしてお子様の様子を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーお子様はおりませんが、提供する、おやつやクッキングなどは指示書をもとに保護者様と話し合い、十分に配慮していきたいです。	おやつ、クッキング等に関しては、摂取した後の、観察を怠らないように努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し計画に沿って支援を行っています。また、必要に応じて見直しを行います。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		外活動など、こどもの特性に応じ職員の配置が難しい時は予定を変更することをお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時には書類を作成し、職員間で話し合い、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年3回委員会を行い、職員に周知しています。また、職員によるアンケートを三ヶ月に一度行いながら、虐待防止に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		今現在、身体拘束の、お子様はいませんが、法人内で虐待防止委員会での話し合いなど行っています。		